

## 第87回教育課程小委員会議事録

### 1 日時・場所

2022年9月17日 20:00-21:20 ZOOM会議

### 2 参加者（以降、敬称略）

（地学）市川、富樫、丹羽、藤原、根本、南島、宮嶋、（地理）秋本、井田、今野、高橋、中山、山本  
（オブザーバー）阿部、林

### 3 協議

#### （1）教科書・学習指導要領分析に関する担当者決め

◇教科書分析WG チーフ：担当者が出そろったところで改めて協議する

林、根本、田口、高橋、中山、阿部、丹羽

◇指導要領分析WG チーフ：秋本・宮嶋で当座進め、若い人に加わってもらう

市川、富樫、藤原、南島、宮嶋、秋本、井田、今野、山本

※会議不参加の委員からは、どちらのWGに入るか希望を聞き、調整する

#### （2）防災教育とは何か（各委員の主なコメントを掲載）

- ・地理の教科書の内容が充実している。地学の必要性をどこに見出してゆくか。
- ・地理の教科書での災害メカニズムの説明は少し怪しいところがある。
- ・地理と地学で内容がオーバーラップしているがやや違う。相互の補完関係がある。例えば地理ではハザードマップの活用が示されているが、マップを作るには地学の知識。
- ・地学は災害のメカニズム、地理は防災（地域性）、公民はコミュニティ内での動きを担う。
- ・社会、理科の教員両方がつながりがわかるような（相関図）明示的に示す。
- ・カリキュラムマネジメントの観点から考えると、理科と社会の内容が扱われる学年が異なっており、有機的な関連がなされていない
- ・小中学校学習指導要領の総則編に防災教育に関するカリキュラムマネジメント的な表がある。一度精査して検討しなおす必要がある。
- ・防災教育の内容は教科横断的であるが、各要素が有機的に関連して意識されない（昔からの課題）。

#### （3）次期連合大会パブリックセッションについて

- ・防災教育と教育課程の両小委員会の共催で、小学校から高校までの防災教育に関する教科書検討を内容とするセッション提案を行うことを合意した。
- ・コンビーナ団として林・田口（防災教育）、高橋（教育課程）を承認した。なお、教育課程小委員会からのもう1名は未定（幹旋役：根本）。
- ・両委員会共催によるパブリックセッションの開催について、防災教育小委員会より教育検討委員会への報告を行う。

### 4 次回小委員会

10月中旬を目途に開催日程を調整する。内容は、①パブリックセッションの素案について、②各WGの検討の途中経過報告。